

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「～したい」という児童の思いを引き出しながら、学習に取り組ませることができた。
- ・身近な人々や自然と関わることで、対象に対する個々の気付きや思いが増えた。また、それを伝えたいという気持ちが高まり、グループや学級ですすんで共有しようとする姿が見られた。

(2) 課題

- ・どのように学習対象と関わるとよいか、体験だけでは十分に理解することができなかった。児童の気付きを共有しながら、気付きの質を高めていく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） *実施なし

(2) 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○生き物を飼育することで、生き物に適したえさや飼育環境などの必要な情報を調べて、実践することができた。 ○野菜の育て方について、身近な人から話を聞いたり、図鑑やインターネットで調べたりすることで、水やりの頻度や害虫の取り方などを知り、世話に生かすことができた。自分だけではできないことに対して、どのように実践していくか提示し、取り組めるようにしていけるとよい。	○振り返りを書くことで、自分の思いや気付きなどを積み重ねている。 ○次時の活動を、児童とともに決めることで、1時間のめあてを設定して自己の学習を振り返ることができるようになってきている。 ○様々な表現方法で、自分の思いや気付きを伝えられるようにすることで、全体での気付きの質を高めていく必要がある。	○野菜を育てる活動を通して、自分の野菜に愛着をもって世話することができた。 ○町探検で発見したものを地図にまとめることを通して、友達と協力しながら取り組もうとする様子が見られた。自分から関わるのが難しい児童がいるため、今後も支援を継続していく必要がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○具体的な活動や体験を充実させたり、繰り返し学習対象と関わったりすることで、様々な気付きを引き出すことができるようにする。	○自己の学習の振り返りを積み重ねて、新たな気付きを得たり、工夫したりして学習活動に生かすことができるようにする。	○すすんで関わりたいという思いをもてるように、多くの体験活動を取り入れ、体験や経験をもとに学習に取り組めるようにする。

○五感を使って対象を多面的に捉えられるように声を掛けることで、一人一人の気づきの質が高まるように指導する。 ○個々の気づきを全体に広げて一般化することにより、気づきの質を高める。	○見付ける、比べる、見通す、工夫するなどの学習活動を意図的に取り入れ、考えを深めたり、気づきの質を高めたりできるようにする。 ○言葉、絵、動作など多様な表現方法で自分の思いや考えを表現できるようにする。また表現方法を提案して、自分で選択できるようにする。	○児童の思いや願いを明確にして学習に取り組み、活動を振り返ることで達成感や満足感が感じられるようにする。 ○個人での活動だけでなく、グループや学級で協力しながら取り組む機会を設定し、周囲と関わりながら学習できるようにする。
---	---	---